





# なぜ二世は日本就労できないのか

(3)

## 3歳から30歳まで日本育ち

日本へ行くブラジル人の日本国査証(参考写真)



のは、日系二世のワイ、シンジさん(仮称、37歳)。妻レイナさん(仮称、40歳)の父親が体調を崩したため、ワイさんは2017年に当時日本で小学4年生だった娘と3歳の息子を連れて、夫婦の生まれ故郷であるサンパウロ州モジ・ダス・クルゼス市に戻った。レイナさんの父親は昨年他界し、今はここにとどまる理由は何かない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

## 活動再開の最初に合同慰霊祭

### 沖縄県人会サントアンドレ支部

沖縄県人会サント・アンドレ支部(山城芳政支部長)主催の合同慰霊祭が、11月28日午後4時からサント・アンドレ市の同支部うるま会館で執り行われ、感染対策を取りながら約120人が参加した。

慰霊祭では、2020年と21年の2年間で亡くなった支部会員26人の遺影が祭壇に並べられ、コロナ禍が落ち着きが弔辞を読み上げ、パン

始めた中で、「支部の活動を再開するにあたって、最初に故人の慰霊祭を行うことが大切」との会員たちの思いにより、実施されたという。

## 戻りたいのに戻れない辛い日々

戻りたいのに戻れない辛い日々。ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。

ワイさんは日系二世の父親とイタリア系ブラジル人の母親のもとに生まれた。父方の祖父は秋田県出身で、祖母は戦前移民。だがワイさん本人はブラジル国籍しか保有していない。



慰霊祭に参列し焼香する支部会員

## JHSP 『シンビオシス』生きられた島

### アートと環境が一体化する犬島

犬島は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

犬島は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

犬島は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

犬島は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

犬島は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

犬島は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

3歳の時、両親が就労するために、一緒に日本に渡り、東京や埼玉を中心に生活してきた。日本の学校で中高を卒業し、都内の私立大学に入学したが、家庭の事情で学費が払いきれず中退した。以後、フリーの通訳、板前の修業、派遣会社を通じて自動車関係の工場などで働いてきた。

ワイさんは2年前から、日本に再渡航する準備を始めた。査証申請書の取得は障壁となる。ワイさんがブラジルと日本でようやく書類をそろえた段階だった。2020年12月28日、日本政府は査証申請の受付を停止した。それ

ワイさんは2年前から、日本に再渡航する準備を始めた。査証申請書の取得は障壁となる。ワイさんがブラジルと日本でようやく書類をそろえた段階だった。2020年12月28日、日本政府は査証申請の受付を停止した。それ

ワイさんは2年前から、日本に再渡航する準備を始めた。査証申請書の取得は障壁となる。ワイさんがブラジルと日本でようやく書類をそろえた段階だった。2020年12月28日、日本政府は査証申請の受付を停止した。それ

ワイさんは2年前から、日本に再渡航する準備を始めた。査証申請書の取得は障壁となる。ワイさんがブラジルと日本でようやく書類をそろえた段階だった。2020年12月28日、日本政府は査証申請の受付を停止した。それ

ワイさんは2年前から、日本に再渡航する準備を始めた。査証申請書の取得は障壁となる。ワイさんがブラジルと日本でようやく書類をそろえた段階だった。2020年12月28日、日本政府は査証申請の受付を停止した。それ

鳥袋氏が南米同窓会連盟会長に就任。同協会は、主に開発途上国の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣事業を実施している。

鳥袋氏は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

鳥袋氏は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

鳥袋氏は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

鳥袋氏は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。

鳥袋氏は「このプロジェクトは大島の風景や歴史を尊重しつつ、少しずつ環境を変えていく再創造の過程です」と語る。



左から鳥袋連盟会長、平井AOTS評議員長

ロスからニューヨークまでヒッチハイクをする長島らの脱サラ組が、節子さん松子さんの大村姉妹をドライブに誘った。姉妹のまには夫婦水入らずで...と、姉妹はドライブを断った。

ロスからニューヨークまでヒッチハイクをする長島らの脱サラ組が、節子さん松子さんの大村姉妹をドライブに誘った。姉妹のまには夫婦水入らずで...と、姉妹はドライブを断った。

ロスからニューヨークまでヒッチハイクをする長島らの脱サラ組が、節子さん松子さんの大村姉妹をドライブに誘った。姉妹のまには夫婦水入らずで...と、姉妹はドライブを断った。

ロスからニューヨークまでヒッチハイクをする長島らの脱サラ組が、節子さん松子さんの大村姉妹をドライブに誘った。姉妹のまには夫婦水入らずで...と、姉妹はドライブを断った。

ロスからニューヨークまでヒッチハイクをする長島らの脱サラ組が、節子さん松子さんの大村姉妹をドライブに誘った。姉妹のまには夫婦水入らずで...と、姉妹はドライブを断った。

ロスからニューヨークまでヒッチハイクをする長島らの脱サラ組が、節子さん松子さんの大村姉妹をドライブに誘った。姉妹のまには夫婦水入らずで...と、姉妹はドライブを断った。

SINGA ATELIER advertisement for a gallery opening on Dec 18/19, 2021.

Advertisement for a restaurant or cafe with a snake logo and menu items.







ニッケイ俳壇

(1135)

伊那 宏 選

サンバウロ

草陰に掃き寄せて置き落し文

「落し文」とは柔らかな広葉樹の葉などに昆虫が産卵して筒状に巻いたもの。地上に落ちたそれを草陰にそと掃き寄せておいた心遣いが伝わってくる。かの時代、恋文を紙筒に入れて相手に渡した(屏越し)に投じた、という故事から付けた名前である。この季語を、うまい措辞を使って詩の世界に「とまてた。作者の技巧巧みならぬものがある」

メロデーを奏でて居りし初夏の風 今日雨を待てるよな朝焼けに コロナ禍で忘れられたり夏時間 主婦放棄(笑)試験過去になり

高山てるえ

今年又一番乗りや慕洗ふ 母さむを野良に聞きし胡瓜もみ 即席や切り器でできむ胡瓜もみ 夕立と駆けて負けじと濡れ子 古井戸に蝙蝠ひそむ郊外地

サンバウロ

園丁の植へ替へてをり夏に入る 行く春のころにおはす幾仏

「行く春を惜しむ心にと抱いているのは、亡きあの人の思い出である。死者を忘れ去るのではなく、いつまでも心の中に生きてもらうことで救われるのだと自覚される。卒春をとうに過ぎた作者のこころ境が、深くにじみ出ている一句となった」

胸に生く人の恋しき臘月 晴れてあてこか霞むも大聖市

サンバウロ

街の春笑顔でさそう店舗かな 春めきて万物全て目覚むかな ジヤカラ夕咲いて安らぎ慕碑の友 豆青む絨毯の如くパナナ 目印の付けこけ無し古曆

グアタハラ

焼野なる広き大地をただ眺め 暖かくなり手魚の子ノソソと 囁りに起こされ孫は大きくび

グアタハラ

乳飲み子の手足のくひれ暖かき 野生種の棲家追われ大焼野 巡礼の歩きおして暖か

グアタハラ

うたた寝の目に囁り心地良き 目覚ましは囁り昼は腹時計 焼け野原大地の息吹雨を待

グアタハラ

さえずりに音色のありて恋の唄 (春は小鳥たちの恋の季節。美しい囁りの音(ね)はそれぞれの言葉(ら)の意味を持つ。囁るは主として雄である(ら)から、音色は違っても同じような意味の言葉である。人間なら何と云って相手にアピールするだろうかと思える。小鳥の囁りも直すと微笑ましいものと想像される。もしかしら直説法で口説いているのかも、なんて考えると、さえずりの音色もまた愉快なものではないか)

グアタハラ

少しずつ自粛も解けて街温し

大野焼き童巻呼びて大飛び火 故郷に帰ったつた暮電話 アマソンの手作り餅年の暮れ 年暮れのバス二十四時間里帰り

ペレン

「里帰り」は「帰郷」とは違ふ意味になる。里帰りは生家に一時身を寄せること、帰郷はあるとこに帰ること。二十四時間バスに揺られて帰る(千里までは行ったとれほどの距離。少なくとも大陸口以上の行程になるであろう。まさに広大な大陸ならではの句である。作者は四世の方と聞く。日本語に魅せられ、己のアイデンティティを俳句を通じて探求されている尊い姿に胸打たれるものがある。(年暮れの)は「年の暮」あるいは「年末」のほうかすつきりしよう)

ペレン

松竹梅のおせち重箱亡母浮ぶ アマソンの六〇年余年の瀬道 年暮俳壇増刊気落ちる

ペレン

移民待つ二つの祖国文化の日 喜雨を待つ術なき民の祈りかな 朝の日の柔らかな見せ乾季

ペレン

「新聞俳壇を心の拠り所とされている多くの愛好者の気持を代弁されている句である。ひとつの歴史が終止符を打つとき誰もが感じる衝撃や悲哀。それはしばらく続くであろうが、これもまた時の流れに吞まれて、やがて人は必然的に別の手立を講じて自らの道を切り開いて行く。歴史の変遷とは、ある意味非情なものながら人を強くしてくるものだ。希望を持つべき年を迎えたい」

ペレン

ヨリ習う習わぬ迷い師走来る ハライ州ヨミナス 街路樹の大王椰子の熱り立つ 黄落や何時か別れる人ばかり 鍵盤に廃刊の文字身に入みる 廃刊を惜しめば銀河滔々 晩年の句も締めや十二月

ペレン

サンバウロ

桑グラスかけて心に蓋をする なによりもトマトが決め手イタリアン トマト安眠喜び農家泣く 哀歌のこもる教会煤払い 一年の思いを食へばネトネ

ペレン

伊達じやないトマトのサングラス 外出に忘れてならぬサングラス トマト選る末子立派な主婦の顔 丹精し育てたトマト味やよし

ペレン

「二年の大掃除(煤払い)は、日かがり、いやそれだけでは済まないこともある。家の隅から隅まで一つひとつを払って元に戻して...などと意外と手間と時間がかかるのである。そうだけでなく年末は、はすことが多い。目に付かない所はついどうでもい、やとことなる。口語体の結語が年の暮れの慌しさをリアルに表現された。文語体では出せない効果である」

ペレン

煤払いついでに煤ごみ事 (煤払い)は一年の間にたまった家中のゴミや埃を取り払う年の瀬の行事だが、ときに心にたまった煤ごみやこれの雑念を追うという意味に用いられることもある。くよくよせず忘れて、新しい年を迎えようとする思いからなのだが、大

ペレン

晦日の「除夜の鐘」は、全ての煩惱を取り去る。心身の煤払いをしてくれるもので一年の総決算になる。今年もあとわずかで終わる。鉢植えのトマト可愛い手が出せず サングラスとれば優しい目が笑う サングラス気をつけてくれぬ母を呼び ほうき持ちやたらふりまく煤払い

ペレン

キラキラとほげほげ現るパネトネ 美味しさの分か合うもパネトネ パネトネ包みの中より香り来る 手を伸ばし足を踏ん張り煤払い 朝市の真つ赤なトマト手に取

ペレン

戻り寒部の横暴パネトネ 自粛解除と人出の街残響 春光や真子さまさんおめでどう

ペレン

「海外に住んでいる移住者たちには、皇室への親近感や日本との遠く特別なつながりがある。心の底に根を張っている民族意識がそうさせているのである。突き放せないでいる。そういつか思いがたつ一句を作った。結婚にまつわる醜聞を乗り越えて幸せの道を進んだお二人への、前途に限りないエールが句に込められた真実の声として、私には受け止めることが出来る。海外に住む者の心情が言わせない言葉なのである」

ペレン

桑グラスかけて心に蓋をする なによりもトマトが決め手イタリアン トマト安眠喜び農家泣く 哀歌のこもる教会煤払い 一年の思いを食へばネトネ

ペレン

伊達じやないトマトのサングラス 外出に忘れてならぬサングラス トマト選る末子立派な主婦の顔 丹精し育てたトマト味やよし

ペレン

「二年の大掃除(煤払い)は、日かがり、いやそれだけでは済まないこともある。家の隅から隅まで一つひとつを払って元に戻して...などと意外と手間と時間がかかるのである。そうだけでなく年末は、はすことが多い。目に付かない所はついどうでもい、やとことなる。口語体の結語が年の暮れの慌しさをリアルに表現された。文語体では出せない効果である」

ペレン

煤払いついでに煤ごみ事 (煤払い)は一年の間にたまった家中のゴミや埃を取り払う年の瀬の行事だが、ときに心にたまった煤ごみやこれの雑念を追うという意味に用いられることもある。くよくよせず忘れて、新しい年を迎えようとする思いからなのだが、大

ペレン

晦日の「除夜の鐘」は、全ての煩惱を取り去る。心身の煤払いをしてくれるもので一年の総決算になる。今年もあとわずかで終わる。鉢植えのトマト可愛い手が出せず サングラスとれば優しい目が笑う サングラス気をつけてくれぬ母を呼び ほうき持ちやたらふりまく煤払い

ペレン

キラキラとほげほげ現るパネトネ 美味しさの分か合うもパネトネ パネトネ包みの中より香り来る 手を伸ばし足を踏ん張り煤払い 朝市の真つ赤なトマト手に取

ペレン

戻り寒部の横暴パネトネ 自粛解除と人出の街残響 春光や真子さまさんおめでどう

ペレン

「海外に住んでいる移住者たちには、皇室への親近感や日本との遠く特別なつながりがある。心の底に根を張っている民族意識がそうさせているのである。突き放せないでいる。そういつか思いがたつ一句を作った。結婚にまつわる醜聞を乗り越えて幸せの道を進んだお二人への、前途に限りないエールが句に込められた真実の声として、私には受け止めることが出来る。海外に住む者の心情が言わせない言葉なのである」

ペレン

晦日の「除夜の鐘」は、全ての煩惱を取り去る。心身の煤払いをしてくれるもので一年の総決算になる。今年もあとわずかで終わる。鉢植えのトマト可愛い手が出せず サングラスとれば優しい目が笑う サングラス気をつけてくれぬ母を呼び ほうき持ちやたらふりまく煤払い

ペレン

キラキラとほげほげ現るパネトネ 美味しさの分か合うもパネトネ パネトネ包みの中より香り来る 手を伸ばし足を踏ん張り煤払い 朝市の真つ赤なトマト手に取

ペレン

戻り寒部の横暴パネトネ 自粛解除と人出の街残響 春光や真子さまさんおめでどう

ペレン

「海外に住んでいる移住者たちには、皇室への親近感や日本との遠く特別なつながりがある。心の底に根を張っている民族意識がそうさせているのである。突き放せないでいる。そういつか思いがたつ一句を作った。結婚にまつわる醜聞を乗り越えて幸せの道を進んだお二人への、前途に限りないエールが句に込められた真実の声として、私には受け止めることが出来る。海外に住む者の心情が言わせない言葉なのである」

ペレン

桑グラスかけて心に蓋をする なによりもトマトが決め手イタリアン トマト安眠喜び農家泣く 哀歌のこもる教会煤払い 一年の思いを食へばネトネ

ペレン

伊達じやないトマトのサングラス 外出に忘れてならぬサングラス トマト選る末子立派な主婦の顔 丹精し育てたトマト味やよし

ペレン

「二年の大掃除(煤払い)は、日かがり、いやそれだけでは済まないこともある。家の隅から隅まで一つひとつを払って元に戻して...などと意外と手間と時間がかかるのである。そうだけでなく年末は、はすことが多い。目に付かない所はついどうでもい、やとことなる。口語体の結語が年の暮れの慌しさをリアルに表現された。文語体では出せない効果である」

ペレン

煤払いついでに煤ごみ事 (煤払い)は一年の間にたまった家中のゴミや埃を取り払う年の瀬の行事だが、ときに心にたまった煤ごみやこれの雑念を追うという意味に用いられることもある。くよくよせず忘れて、新しい年を迎えようとする思いからなのだが、大

ペレン

晦日の「除夜の鐘」は、全ての煩惱を取り去る。心身の煤払いをしてくれるもので一年の総決算になる。今年もあとわずかで終わる。鉢植えのトマト可愛い手が出せず サングラスとれば優しい目が笑う サングラス気をつけてくれぬ母を呼び ほうき持ちやたらふりまく煤払い

ペレン

キラキラとほげほげ現るパネトネ 美味しさの分か合うもパネトネ パネトネ包みの中より香り来る 手を伸ばし足を踏ん張り煤払い 朝市の真つ赤なトマト手に取

ペレン

戻り寒部の横暴パネトネ 自粛解除と人出の街残響 春光や真子さまさんおめでどう

ペレン

「海外に住んでいる移住者たちには、皇室への親近感や日本との遠く特別なつながりがある。心の底に根を張っている民族意識がそうさせているのである。突き放せないでいる。そういつか思いがたつ一句を作った。結婚にまつわる醜聞を乗り越えて幸せの道を進んだお二人への、前途に限りないエールが句に込められた真実の声として、私には受け止めることが出来る。海外に住む者の心情が言わせない言葉なのである」

ペレン

桑グラスかけて心に蓋をする なによりもトマトが決め手イタリアン トマト安眠喜び農家泣く 哀歌のこもる教会煤払い 一年の思いを食へばネトネ

ペレン

伊達じやないトマトのサングラス 外出に忘れてならぬサングラス トマト選る末子立派な主婦の顔 丹精し育てたトマト味やよし

ペレン

「二年の大掃除(煤払い)は、日かがり、いやそれだけでは済まないこともある。家の隅から隅まで一つひとつを払って元に戻して...などと意外と手間と時間がかかるのである。そうだけでなく年末は、はすことが多い。目に付かない所はついどうでもい、やとことなる。口語体の結語が年の暮れの慌しさをリアルに表現された。文語体では出せない効果である」

ペレン

煤払いついでに煤ごみ事 (煤払い)は一年の間にたまった家中のゴミや埃を取り払う年の瀬の行事だが、ときに心にたまった煤ごみやこれの雑念を追うという意味に用いられることもある。くよくよせず忘れて、新しい年を迎えようとする思いからなのだが、大

ペレン

晦日の「除夜の鐘」は、全ての煩惱を取り去る。心身の煤払いをしてくれるもので一年の総決算になる。今年もあとわずかで終わる。鉢植えのトマト可愛い手が出せず サングラスとれば優しい目が笑う サングラス気をつけてくれぬ母を呼び ほうき持ちやたらふりまく煤払い

ペレン

キラキラとほげほげ現るパネトネ 美味しさの分か合うもパネトネ パネトネ包みの中より香り来る 手を伸ばし足を踏ん張り煤払い 朝市の真つ赤なトマト手に取

ペレン

戻り寒部の横暴パネトネ 自粛解除と人出の街残響 春光や真子さまさんおめでどう

ペレン

「海外に住んでいる移住者たちには、皇室への親近感や日本との遠く特別なつながりがある。心の底に根を張っている民族意識がそうさせているのである。突き放せないでいる。そういつか思いがたつ一句を作った。結婚にまつわる醜聞を乗り越えて幸せの道を進んだお二人への、前途に限りないエールが句に込められた真実の声として、私には受け止めることが出来る。海外に住む者の心情が言わせない言葉なのである」

ペレン

桑グラスかけて心に蓋をする なによりもトマトが決め手イタリアン トマト安眠喜び農家泣く 哀歌のこもる教会煤払い 一年の思いを食へばネトネ

ペレン

伊達じやないトマトのサングラス 外出に忘れてならぬサングラス トマト選る末子立派な主婦の顔 丹精し育てたトマト味やよし

ペレン

「二年の大掃除(煤払い)は、日かがり、いやそれだけでは済まないこともある。家の隅から隅まで一つひとつを払って元に戻して...などと意外と手間と時間がかかるのである。そうだけでなく年末は、はすことが多い。目に付かない所はついどうでもい、やとことなる。口語体の結語が年の暮れの慌しさをリアルに表現された。文語体では出せない効果である」

ペレン

天道虫背中を割って飛び立てり 現世を喜々と歩むや蝸牛 夏めくや店のマネキン肩駝きて

サンバウロ

「春のモード半袖姿だったのが今日は肩を露にし、昨日まで半袖姿だったのが今日は肩を露にし、う少しするとヒキニスタイルが登場し、女性ばかりが男性の目も引くようになる。身にまとう衣類が最小限に達する夏本番。しかし、コロナウイルスの脅威が再燃しつつある現状、かようなスタイルは目の保養のためだけに、マスクをしながらヒキニ娘では俳句にもならないではないか」

サンバウロ

蝸牛跡光らせて過ぎにけり

サンバウロ

でんでんむし歌つた子等も次世代へ 温泉宿野歩けば露涼し 益虫と教はり日天道虫 虫嫌ひ何故か日天道虫 雨止みて夏めく日暮れ白き雲

サンバウロ

急げども道はるかなりかたつむり 翅閉ちて丸くおさまる天道虫 (小指の頭大はもたない天道虫は丸くて可愛いらしい虫である。水玉模様可愛らしさをさらに引き立てる。色は緑々。青虫として駆除の対象になるが、その可愛さは子供にも好まれる。小さな鎧のような翅を閉じて丸くなる様子を、老いて丸くなる人間の姿に見立てての一句、と作者はお考えになったかどうかわからないが、そのように見ることによって句にふくらみがでて味わいも増す。わが自己流の鑑賞も楽しんで) イタベリカダ・セラ

サンバウロ

夏めくやバケツの水の照り返し エンヤヤ拍く足も露涼し 銀の道行先知れぬかたつむり うつすらと白む夕露涼し 天道虫丸き背中に星七つ

サンバウロ

遅くとも必ず前進かたつむり 娘らのスリッパ履き夏めける 天道虫のフロッピーふいにびたり 夏めくや生あるものは天を向く のろいと思つてない蝸牛

サンバウロ

移住てふ般にこもりて蝸牛 雨降つて子孫ぞろぞろ蝸牛 水玉の芸術品や天道虫 夏めきて木々青々とまよひかな 夏めくや旅の誘ひときめきぬ

サンバウロ

蝸牛出番を待ててコロナ禍に 逝く春や恩師偲びて胸痛む 飛機事故の歌姫マリリア夏に逝く 吾子病みて昼夜一人や夏愁ふ 春蘭の房咲き多くかへはラジエ

サンバウロ

裾分けの菜に蝸牛ついでに 夏めきし牧に牛等の憩ひこころ 雨あとの我菜園や夏めきて

サンバウロ

露涼し打ち振る鎌の裏表 天道虫丸く前に転げ落ち

サンバウロ

生き生きと咲き花々露涼し 下着かと見紛ふ服や夏に入る 踏みしめる土の感露涼し かつむりやペーパースてふ歩きざり 益裁展開かる節草葉風

サンバウロ

夏めくや森むちた若き若き 露涼し若者御する裸馬 木戸を去る気配なかりしかつむり 弾かれて恨むなれや天道虫 飛びたてへ肩を貸します天道虫

サンバウロ

掌にのせてはつと逃げた天道虫 夏めくやミナスのチー売りが来て 夏めくや青生垣刈られけり ぐもり日の色くもる爽竹桃 幾人(いくたり)のかげがえもなき墓参の日

サンバウロ

老いたれと見ればはつこり天道虫 小糖菓裏に眠る蝸牛 濯ぎ物揺る風情や夏めく日 夕涼みや青筋のぼして風の道 薫風や今生きてある我を知る

サンバウロ

「初夏の快い風が吹かれて、「今生きている」と実感することはよくあることだ。特に街住いなければ、コロナ禍で自粛生活を強いられている最中なれば、その思いは一人のものがある。しかし、薫風を満喫するには市中ではダメ。広い公園か郊外の緑豊かな環境が適当、家揃って自家用車でのドライブと酒落るのもうれいもの。コロナ禍の今だからこそそういった自己確認作用が必要となる」

サンバウロ

眼に慣れし入れ果園歩夏は来ぬ ふさふさと帰るまなしかたつむり 下校の子この指止まれ天道虫 指止まるこの先絶壁天道虫 暫くは胸にそのまま天道虫

サンバウロ

夏めくやコロナウイルス出口見ゆ 天道虫水玉の服を着て居りぬ 夏蝶の乱れ舞して恋をする

サンバウロ

可愛く天道虫は益虫だ かつむり目を出せ今日も頑張ろう かりの空食へ損ねたかたつむり 紫陽花の藍の花びら清々し 夏めきて町行く人の薄衣かな

サンバウロ

かたつむり手足は無用滑りゆく 鉢植の草花揺れて露涼し 天道虫飛ぶとも見せず飛びたちな 雷や忘れて居しに轟きぬ 朝霞や街路樹ごとに地を這ひて

サンバウロ

天道虫孫に買ひたしヤリリング 夏めくやふつとときて音静か 蝸牛世帯担いでつとつと 風の道水面で揺れる水芭蕉 輝いて向日葵みた孫娘

サンバウロ

今朝も行くジョギング露涼し 夏めきて久しく麻のシャツを着る 虹色は神の摂理か天道虫 梅の花十三五で嫁し娘 海は夏ときは目立つ八頭身

サンバウロ

露涼し打ち振る鎌の裏表 天道虫丸く前に転げ落ち

サンバウロ

生き生きと咲き花々露涼し 下着かと見紛ふ服や夏に入る 踏みしめる土の感露涼し かつむりやペーパースてふ歩きざり 益裁展開かる節草葉風

サンバウロ

夏めくや森むちた若き若き 露涼し若者御する裸馬 木戸を去る気配なかりしかつむり 弾かれて恨むなれや天道虫 飛びたてへ肩を貸します天道虫

サンバウロ

掌にのせてはつと逃げた天道虫 夏めくやミナスのチー売りが来て 夏めくや青生垣刈られけり ぐもり日の色くもる爽竹桃 幾人(いくたり)のかげがえもなき墓参の日

サンバウロ

老いたれと見ればはつこり天道虫 小糖菓裏に眠る蝸牛 濯ぎ物揺る風情や夏めく日 夕涼みや青筋のぼして風の道 薫風や今生きてある我を知る

サンバウロ

「初夏の快い風が吹かれて、「今生きている」と実感することはよくあることだ。特に街住いなければ、コロナ禍で自粛生活を強いられている最中なれば、その思いは一人のものがある。しかし、薫風を満喫するには市中ではダメ。広い公園か郊外の緑豊かな環境が適当、家揃って自家用車でのドライブと酒落るのもうれいもの。コロナ禍の今だからこそそういった自己確認作用が必要となる」

サンバウロ

眼に慣れし入れ果園歩夏は来ぬ ふさふさと帰るまなしかたつむり 下校の子この指止まれ天道虫 指止まるこの先絶壁天道虫 暫くは胸にそのまま天道虫

サンバウロ

夏めくやコロナウイルス出口見ゆ 天道虫水玉の服を着て居りぬ 夏蝶の乱れ舞して恋をする

サンバウロ

可愛く天道虫は益虫だ かつむり目を出せ今日も頑張ろう かりの空食へ損ねたかたつむり 紫陽花の藍の花びら清々し 夏めきて町行く人の薄衣かな

サンバウロ

かたつむり手足は無用滑りゆく 鉢植の草花揺れて露涼し 天道虫飛ぶとも見せず飛びたちな 雷や忘れて居しに轟きぬ 朝霞や街路樹ごとに地を這ひて

サンバウロ

天道虫孫に買ひたしヤリリング 夏めくやふつとときて音静か 蝸牛世帯担いでつとつと 風の道水面で揺れる水芭蕉 輝いて向日葵みた孫娘

サンバウロ

今朝も行くジョギング露涼し 夏めきて久しく麻のシャツを着る 虹色は神の摂理か天道虫 梅の花十三五で嫁し娘 海は夏ときは目立つ八頭身

サンバウロ

幼子の服飾した天道虫 露涼し大に小径を譲りて 夏めくやマスクを捨て歩き 雨降れば嬉々と角振る蝸牛 朝市に買ひし野菜の蝸牛

サンバウロ

夏めくや風の音にもドレリアン (風の音にリズムがあるのはだんに感じることである。同時にそのリズムは、それを感じ取る人の胸の中に生まれ出るリズムでもある。夏の開放感と相まって、ハ







MARUITI logo and product images (Tonkatsu, Yakisoba) with website URL www.maruiti.com.br.

VENDA em BANCA

Jeitinho no Japão para os brasileiros. Includes contact info for Tokyo and Nagasaki branches.

ANO XXIV - Nº 5872

SÃO PAULO, QUARTA-FEIRA, 8 DE DEZEMBRO DE 2021

R\$ 6,00

米五輪を外交ボイコット

人権侵害抗議 選手は参加 中国は対抗措置宣言

【ワシントン、北京共同】バイデン米政権は6日、来年2月の北京冬五輪・パラリンピックに政府代表を派遣しない「外交ボイコット」を発表した。

岸田文雄首相は7日、ロサンゼルス五輪を外交ボイコットする可能性を示唆した。「平和の祭典」であるはずの五輪を巡る観念から自ら判断したいと述べた。

【ワシントン共同】井口大上席研究員(90)に6日(日本時間7日)、米首脳が授与されるメダルと賞状が授与された。



井口大上席研究員(90)に6日(日本時間7日)、米首脳が授与されるメダルと賞状が授与された。

【ワシントン共同】井口大上席研究員(90)に6日(日本時間7日)、米首脳が授与されるメダルと賞状が授与された。

【ワシントン共同】井口大上席研究員(90)に6日(日本時間7日)、米首脳が授与されるメダルと賞状が授与された。

太平洋戦争開戦80年

【共同】日軍の米・真珠湾への奇襲攻撃に端を発した太平洋戦争の開戦から8日、80年が経ち、戦況は依然として膠着状態が続いている。

【共同】日軍の米・真珠湾への奇襲攻撃に端を発した太平洋戦争の開戦から8日、80年が経ち、戦況は依然として膠着状態が続いている。

【共同】広島市中区にある原爆ドームが7日、世界遺産登録から25年を迎える。

Advertisement for Nikkei Shimbun newspaper, including subscription rates and contact information.

【ワシントン共同】井口大上席研究員(90)に6日(日本時間7日)、米首脳が授与されるメダルと賞状が授与された。

【共同】超党派の議員連盟「みんなが靖国神社」が参拝する国会議員の会合を開催した。

【共同】超党派の議員連盟「みんなが靖国神社」が参拝する国会議員の会合を開催した。

【共同】超党派の議員連盟「みんなが靖国神社」が参拝する国会議員の会合を開催した。

【共同】超党派の議員連盟「みんなが靖国神社」が参拝する国会議員の会合を開催した。

【共同】超党派の議員連盟「みんなが靖国神社」が参拝する国会議員の会合を開催した。